



学びの中で安心感が生まれる支持的風土の醸成



～生徒指導の実践上の視点の活用～

特別研修員 生徒指導・教育相談 小林 千佳（小学校教諭）

（児童の実態）自分の考えをもつことができなかつたり、考えに不安があつたりして、積極的に発言したり、自信をもって話し合い活動に参加したりすることができない。

（教師の願い）自分の考えをしっかりとち、自信をもって発言したり、友達のことを大切にしながら、考えを深めたり、広げたりしてほしい。

学級活動（１）題材名「クラスキャラクターを作って生かさう」 第4学年 ～キャラクリエイト大作戦！クラスキャラクターのプロフィールを考えよう～

前時で決定した
クラスキャラクター
元気なネコ「げねちゃん」



【事前の活動】

- 第1時：身近なキャラクターの特徴や意義を考え、クラスキャラクターを作る目的を知る。
- 第2時：クラスのよい面やイメージ、願いなどを話し合い、自分たちのクラスらしいキャラクターを考える。
- 第3時：自分が考えたキャラクターへの思いを相手に伝えたり、相手の思いを聴いたりしながらクラスキャラクターを決定する。



【本時の活動】

手立て① 目的に応じた交流の場の提供

目的に応じた交流の場を設けることで、友達に考えを受け入れられる機会を得たり、異なる意見との比較を通じて「自分らしさ」を見いだしたりすることができるようにする。

こういう考えもあつたんだね。理由も分かりやすくていいね。



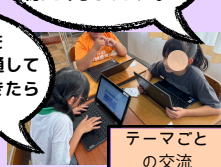
意見が同じ
人との交流

意見が違う
人との交流



なんでこういう考えになつたのかももう少し詳しく教えてほしいな。

げねちゃんの夢や目標はクラスの目標と同じだね。



テーマごとの交流

そうだね。ほくも知りたい。

クラスの目標をげねちゃんを通してもっと意識できたらいいよね。

手立て② 共感を伝えるための視覚的支援



共感カード



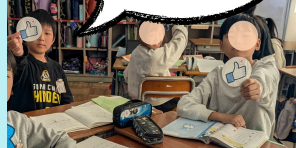
共感スタンプ

いいね！なるほど！



全体発表の場で共感を伝えている場面

すごい！！そんな考え思い付かなかったよ。



グループ交流の場で共感を伝えている場面

自己存在感の感受

安全・安心な居場所

共感的な人間関係

自己決定

手立て③ ICTを活用した手がかりの提示

ICTにより手がかりを提示することで、互いの考えを瞬時に共有しながら自分の考えをもったり、新しい発想を生み出したりすることができるようにする。



私の考えはどうか。みんなはどんなことを考えたのかな。

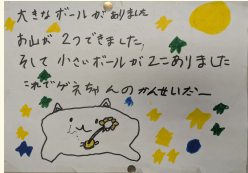


理由が一緒だ。この考えにもう少し付け足して考えてみたらもっとよくなるかもしれないな。

【事後の活動】 キャラクターの生かし方を考え、友達と協力したり自分で考えたりして表現する。



←クラスキャラクターのぬりえを作成しているところ。



←クラスキャラクターの絵描き歌を考えて、ICTで共有しているところ。



←今回クラスキャラクターになれなかったキャラクターをカードゲームにして遊んでいるところ。

目指す児童像 自分の考えや思いを安心して表現することができる児童

○成果 ICTを活用したり、自由な交流を取り入れたりしたことで、自分の考えに自信をもったり、様々な友達と関わりをもったりして、自分の意見を積極的に伝え合うことができた。また、共感カードや共感スタンプの提示により、自分の考えを共感的に受け止めてもらったことで、事後の活動への意欲を高めることができた。

●課題 自分らしさを大切にしてもよいと思えるような考えの違いを、ポジティブに捉える機会を用意することも、更なる支持的風土の向上に必要であると感じた。